京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

京城居留民團公文

京城居留民團告示第八號(其ノ二)

明治四十二年度京城居留民團歳入出豫算及同年度京城居留民團特別會計漢城病院歳入出豫算左ノ如シ

明治四十二年四月十五日

京城居留民團民長 熊谷賴太郎

明治四十二年京城居留民團歳入出總計豫算

歳出

臨時部

第一款 土木費 金二千五百六十五圓
第一項 道路費 金二千五百六十五圓
第二款 補助金 金五百圓
第一項 補助金 金五百圓
第三款 居留民團債費 金三万八千〇八十八圓
第一項 居留民團債費 金三万八千〇八十八圓
第四款 公園費 金二百圓
第一項 公園設備費 金二百圓
第五款 教育費 金一萬一千七百四十八圓
第一項 小學校費 金二千八百九十八圓
第二項 幼稚園費 金四十五圓
第三項 高等女學校費 金三千三百六十五圓
第四項 中學校費 金五千四百四十圓
第六款 特別會計補給費 金二千圓
第一項 漢城病院補給費 金二千圓
第七款 財產費 金一千五百圓
第一項 不動產購入費 金一千五百圓
小計 金五萬六千六百一圓
合計 金二十二萬六千百六十三圓

明治四十二年度京城居留民團特別會計漢城病院歳入出總計豫算

歳入
一金五萬九千八百八十圓 經常豫算高
一金二千圓 臨時部豫算高
合計 金六万千八百八十圓

歳出
一金六萬千八百八十圓 經常部豫算高

歳入出差引殘金ナシ

東拓人物評論(九)

▲吉原副總裁▼(二) 翠山

氏は千葉の人、幼にして土地の校黌に學を修め漸く長ずるに及んで笈を負ふて東都に出で初期の明治法律學校に入り卒業後進んで當時の東京大學に遊びしも業未だ成らざるに中途にして退き同時に内務省に職を奉せり、之れ蓋し氏が抑々官界に身を投せし始めにして又氏が終生官吏として始終すべく其の志を決せるの時なり、當時氏の地位は敢て高きに非ざれども亦敢て低きに非ず少なくとも一局一課の棟梁として之が牛耳を執るものありたり

而して氏や當時眞面目にして正直の割合には官海游泳術に妙を得、且つ事務の才に長じ勤勉の譽高かりしを以て自然と上官の覺ね芽出度く省内の先輩何れも少壯有爲の事務家を以て矚目せざるはなかりき而も由來官界の常弊として情實緣故を以て後進を推挽するものなれども氏にあつては然らず孤立獨歩、孜々として其の職に勵み、剩々さへ其の任務を完うし併せて克く官海の規律を遵守し唯々上官の命令に從ふ外他念なきを以て公平にして偏頗なき先輩よりは殊に信任され日を經るに連れて所謂鰻上り的に其の地位を進むるに至りぬ、其の後明治二十七年の栄轉ばれて或る地方の警視官に轉じ次で一躍して岡山縣知事となり爾來二三の縣知事を拜命して三十六年内務省地方局長に進みしが循吏としての好評は一般に噴々たるものにて誰いふとなく氏は循吏として典型なりと泌評せらるゝに至りぬ、されど當時氏が地方局長としての手腕は敢て可もなく不可もなく平々凡々何等稱すべきの點なき代りに又何等批難すべきの點もなかりき、之れ蓋し氏が從來の閱歷と行徑とに徹し普通一般の事にして要するに其の際一局一面の事務を重箱的に處理するの外何等の創見も策案もなし之所謂性來簿書堆裡の吏たるべく恰當せるの致す所なるべし既に簿書堆裡の吏たり、入つては廟堂に立つて天下の政權を握り、出でゝは野に下つて群衆を統御する底の手腕經綸は樂にしたくも發見する能はざるは固より其の所なり

文苑

袷十日 千嵜

矢拾ひの身輕るに出るや初袷
尼二人同じ淺黄の袷かな
苦情云ふ内は花なり初袷
袷着て來たり小原の薪木賣
素袷の木屋町を行く夕かな
着た人を市で見てから袷かな
着晴れする男盛りや初袷
氏神の土踏みに行く袷かな
素袷や聟入人の今小町
其常座遊ばかり着る袷かな



佐倉宗吾

(五十九) 眞龍齋貞水講演

所謂佐倉城代堀田玄蕃は、己れの身分を上げんと云ふ所から、慾情に駆られて終に國表に於て、此騒動を惹起すに至り、十八萬石の名家が亡ぶるやうになると云ふのは、中途にして大和掃部の如き忠臣を亡ふたのが、一の原因でございます、サア此辰右衛門の注進を聞いて、各村々から、將門山さして押寄せました、農人の怒つたのだから耐らぬ、百姓などは、日頃おとなしくございます、毎度申し上げるやうだが、誰も今日も、農家の人ほど、心の美しい者はない宛で啞のやうだ、正直一途に、朝早く起き晩く成るまで稼いで居ります人達だに依て如何でも此方が宜い事を云つて聞かせれば其言ひ成り次第になる、其人達が怒つたのだから、サア大抵な事ぢやない、容易にその怒りは鎭まりませぬ、何うせ打殺されるならば、最から一揆を起して、皆なが佐倉城へ取詰め、堀田の惡役人を、片端から打殺せと、鋤、鍬、高鍬、竹槍、半棒、六尺棒など、思ひ〳〵の獲物を携へたる事にて、早鐘はゴーン〳〵と鳴る、續々將門山へ集る、鯨波の聲は揚がる、實に物凄き事一通りでございませぬ『ソレ、行るなら飽まで行れッ』と云ふ、現今の百姓とは異ひまして、其時分の農家の人は、耕す事のみに心を入れましたから、學問などは少しもない全然學問なんぞは、百姓には要ぬものとしてあつた、況して此時分の事でございますから、百姓は學問をするよりも、繩の一束も綯つた方が宜いと云つた位ですから、一文不通の者が、只ワイ〳〵騒ぎ立てる、中に

〇『辰右衛門ッ 辰『ハイ 〇『われ前ハア、確かに江戸から歸つて云はつした通り、間違はなかんべいなア 辰『イヤもう其事に違へございませぬ、わんでもハア七十人の者が、古川の御屋敷に閉籠められて、助けてくれー、さう云ふ譯ちやねーと云ふ騒ぎ夫から又、六人の庄屋さん達も、御上屋敷で調べられ、首きられて仕舞へました 〇『イヤそりや偉ね事が出來つた、あんな佛庄屋が縛られて仕舞ふやうぢや、吾々とて如何な事に成るか知んねね、太膽な邪を爲やがる、一体全体こう云ふ事ア、誰から起つたとや △『あにね、此事の起つたのはね、酒々井の原で手習師匠をして居た、先代土井大炊頭様の御代に、惡い事をした夏根早苗でごはす、あう彼の野郎、城代堀田玄蕃の野郎に取入つて、諛魔の磨つて、万事の指圖をしたから、今もこの通り百姓を苦めるのだ、構う事アねね、あの夏根早苗の屋敷へ往つて、打破はしてやれ 〇『それが宜いソーレ、打破してやれねーと、ワイ〳〵鬨の聲を作つて早苗方へ押寄せる、早苗は堀田玄蕃から、手廣き屋敷を貰ひ、唯今は宏大な處に住ゐなして居る、其早苗の屋敷へ、大勢の百姓が、雲霞の如く押寄せ、表門、裏門と兩方から亂入する、門内に闖達て狼狽く奴を『汝も惡人の片々と、六尺棒でひつ叩く、助けてくれーッと云ふ有様、助けるも蚕もあるもんかと、見當り次第なぐり散し『サア往けッ』と奥へ入る、夏根早苗の妾女は、右へ左へ狼狽する奴を、引擒へて打殺す、早苗も今は是迄なりと、獲物を把つて 早『汝等無禮をするかッ 〇『ナアニ小癪な言を吐かしやがる、此野郎ッ』ビシヤッと向う脛を引掃ふ 早『汝無禮者奴ッ 〇『何者が無禮だッ』ドターン、頭を毆る △『ソーレ打殺せー ▲『ソーレ、突殺せッ』ポカ〳〵毆る、耐るものでありませぬ



京城新報

本營の空虛

南山の旭日旗は春風に吹れて翩翻たり、綠泉亭の廣庭緞帳頓に前へ出でたり、然れども保護政治の本營は空虛なり、否空虛に非ず、幾多金線の官僚等悠然として卓を圍み紫色の烟を輪に吹て長閑なり、然り幾多の官僚は定期の時間中は詰め居れり、然れども是等は皆手足のみ、頭腦なくんば活動する能はず、余輩が本營の空虛と叫ぶ亦決して謂なしとせんや、

統監政治の現狀は果して本營を空虛とするも可なりや、本營を空虛にして天下泰平を唱ふべき時なりや、當局者は倫敦タイムスの統監政治に對する好評に得々たるも、祖國に於ては統監政治の現狀に批難の聲を高めつゝあり、議會の質問には沒要領の答辨を與へて一時を糊塗したるも、國民は決して默過するものに非ず、輿論は將さに鐵槌を下さんとしつゝあり、飜て韓國に於ける現狀を目擊せよ、地方の暴徒は今尙ほ跋扈して到底眞面目に經營に從事する能はず、地方行政の刷新は今尙見るべきの事蹟尠らず、中央に於ける諸般の事亦然り、若し事績の舉りたるものありとすれば僅に宮中の肅淸に過ぎず、要するに統監政治は三年餘の歲月を經て僅に其輪廓を描きしのみ、外形の設備を終らんとするに至りしのみ、統監政治の眞の施設は今後にあり、是を以て眞面目に統監政治の實績を擧げんとすれば決して悠々寬々たるの時に非ず、爲すべき事宜さゞる可らざる事は累々として眼前に橫はれり、斯るときに於て手足のみ本營に殘して神經中樞たる頭腦は飛で春色を探り本營を空虛にするが如きは曠職に非ずして何ぞや、

統監政治は前述の如く今や輪廓を終て將さに內容の施設に移らんとする最も緊要の時なり、斯る緊要の時に於て統監たる伊藤公は既に早く任地を去り悠々と祖國の春色を探り、加之辭任するとか或は現職の儘祖國に留るとか、荏苒無意味に日月を經過し優柔不斷決する所を知らず、斯くして任地を空ふするや久し、內部に如何なる事情あるにもせよ職務に不忠實なるの譏は到底免れず、然らば統監代理たる曾禰副統監は統監に代りて充分其職責に盡瘁するかと云へば、際限なく鳴かず飛ばずの主義を固守して何等爲す所なし、而も如何なる急を要する事ありてか此多事の時に本營を空虛にして北韓視察の途に上れり、如何に春色長閑にして情緖油然たるときとは云へ、統監政治の神經中樞たる頭腦が胡蝶の如く外に逍遙し、神經中樞を缺ける官僚のみ唯椅子に坐す、之れ保護政治の木標のみ、曷ぞ事績の舉る理わらんや、若し夫れ是にて緩に事績を擧げ得るとせば、爾來頭腦たる統監も副統監も置くの必要なからむ、天下豈斯の如き滑稽あらんや、

外報一束

●露戰鬪準備　目下露國は祕密の內に戰鬪準備に努め居れり其の目的は近來獨逸が英國に對し海軍力を巨大にするを努め居れるより此の結果として英國と衝突する事必然なれば此の時露國は英國を助けんが爲なり而して露國の戰鬪準備とは陸軍の準備にして如何に獨逸が巨大なる陸軍を動かすも三年間は之に對して尙餘りありと信せりと

●變後の土國　靑年土耳其黨はサロニカに集合し第三軍團と共に首府君士坦丁堡に向つて進軍の準備中なり

●露帝と久邇宮　露國皇帝は久邇宮殿下に御對顏ありセントアンドリユウ勳章を贈與せられたり

●墺と土耳其　維納に於ては土耳其の形勢を以て最も重大なりと思考せり倫敦タイムスは墺多利人の不安心を以て適度を過ぎたるものとせり

●噴火の激烈　伊太利シ、リー島エトナ火山の噴火は激烈を加へつゝあり

●海關檢査嚴　淸國革命黨が武器の一大密輸入を爲すべしとの報道昨今頻々たるより南淸諸港の海關は中央政府の命に依り入港船舶に對し最も嚴重なる檢査を行ふ事となれり

●大學校設立　淸國學部は二十五萬兩を投じて各分科大學を建築する事となり經濟科法制科、文科、醫科、理科、農科、商科、工科の八分科大學學長を任命せり內二名は日本留學生出身なり

●新借款內容　粵漢鐵道督辦大臣張之洞は今回の同鐵道借款問題に就き湖北、湖南、廣東三省出身京官の反對を豫防する爲め特に該鐵道の高總辦をして契約の大意を公示せしめたるが其條件は蘇杭甬及び津浦兩鐵道借款に勝ること數倍なりとせり

雜報

●學校令の發布　昨日の官報を以て師範學校、高等學校、外國語學校、高等女學校及普通學校令中改正の件を發布さる

●帝室債務處理　財產整理局に於て處理中の帝室債務は既に十中八九審査を了し支拂濟金員も其の五分の一となり本日も審査會を開く筈にて本月中には全部處理を了するに至るべく其の剩分は支拂並に不拂の分共近々其の審査決定を公表すべしと

●地方費の徵收方法　五月一日より實施さるべき地方費の徵收方に就ては地方費附加金の科目選擇は最も愼重に審議すべきものにして其科目は主として從來各觀察道に於て徵收しつゝありたる雜稅の種目を參酌すべく且貧民の負擔を輕減して未納金なきことを計らざるべからず而して之れが會計規則は路會計法を準用すべき方針也と尙國庫の收入となるべきか地方の財產となるべきかに就きて內部は度支部と協議の上相當の處理を爲す可しといふ

●土地整理方法　韓國政府は日本興業銀行よりの借款の中一千萬圓を以て土地整理局を設け先づ耕地の測量に着手すべき事は既報の如くなるが整理局の設置並に土地整理の方法に關しては目下度支部に於て調査中にして荒井次官歸任の上決定する由にて具体的に發表せらるゝは本年七八月頃となるべきも先づ整理局の事業は耕地を測量し記名式の地劵を發行する筈なりと云ふ

●副統監馬山發　曾禰副統監は昨日午前十一時三十分光濟號に搭し視察地に向け出發せりとの電報其の向へ達したりと

●地稅徵集の成績　兎角の評ありたる地稅金納も實際に於ては比較的好成績を示しつゝあるものゝ如く去三月末日の調査に依れば隆熙二年度の分は總体の九割隆熙三年度の分は已に三割六分だけ徵集濟となりたりと云ふ

●地方諸法規の制定　地方費實施に要する地方財產管理規則、地方吏員設置規程、地方區域に關する規程は目下閣議に提出中にして不日發布の筈なり

●大久保大將の參內　大久保司令官は副官を從へ二十日午前十一時參內皇帝に謁見し敘勳の御禮を言上せり

●各道會計主任會議　十九日の各道會計主任會議に於ては武石內部會計課長地方費會計規則の各條に就き逐一說明を與へて閉會したるが昨二十日は前日に引續き同規則に對する各會計主任の意見を徵すべしと因みに同會議は昨日を以て終了の筈なりといふ

●主任會議の効果　別項記載の各道會計主任會議は會計法實施以來始めて開催したるものにして元來細密なる會計上の事務は書面等の往復にのみ依りては到底遺算なく處理し得べきものにあらざるが今回同會議を開きたる結果中央と地方の意思疏通し兼ねて中央に於ては地方の狀況を知悉し又地方に於ても中央の會計上の方針を了知したるを以て其の効果は蓋し鮮少ならざるべし

●三新稅施行と咸興　家屋、酒、烟草の三新稅は元山附近にては先づ咸興市之れが課稅に遇ふべきことゝなり居れるが家屋稅は兎も角として酒と烟草に至りては徵稅頗る困難なるべしと云ふ尤も酒造家、烟草製造家等の統計も分らざれば殊に困難なるべしと云ふ尙は同地の日本人に課稅する分は同地日本人會に委囑して徵收することゝなるべしとのことなり

●司法警官執務規程　四月十七日法部令を以て司法警察官執務規程を發布されたるが本令は發布の日より施行すべしと

●軍司令部の會議　來る二十四日午前九時より軍司令部樓上に明石憲兵隊長松井警保局長若林警視總監池田通信管理局長及各旅團長出席し賊徒討伐上の統一を計るため會議を開かるべし尙軍司令官も臨席さるゝ由

●忠淸南道の郡守會議　忠淸南道に於ては從來地勢上全道十三郡を三區に分ち一區每に郡守會議を開きつゝありたるが過般來公州に於て附近の五郡守會合郡守會議を開きたりと

●道飜譯官補の任命　過般內部警務局に於て採用試驗を擧行したる道飜譯官補の合格者日人十六名、韓人十七名は十七日付を以て飜譯官補に任命され夫れ〳〵各道に配置されたり

●全南の農會役員會　過日木浦に於て開會せし全南農會役員會は討議の結果暴徒橫行の今日危險區域に於ける小作米收納の困難なると韓國の舊慣を打破して納稅米の收納は至難なるとの實狀を論じ地方徵稅の手心をば度支部當局に質問するに決したりと

●實行委員會開會　仁川築港期成實行委員會は昨日午後七時より仁川民團樓上に於いて開かれ今后同會が執るべき方針及び手段に就き協議を重ねたる筈なり

●仁川綿糸界の現狀　仁川に於ける綿糸界の現況を聞くに日本に於ける綿糸界が依然品薄なる上に原綿高に刺戟せられて氣配一入强硬となりたるため一般綿糸商は左なきだに輸入の手控へをなしたる際此の報に接し尙一層輸入を見合せたるより在荷拂底は愈々極度に達し爲めに相場亦非常に昂騰し平野十六手六十三圓五十錢角糸六十三圓を稱へ居れり

●棧橋撤廢と建議書　仁川稅關の第一第二の棧橋は第二期埋立着手せらるゝにつき此程撤廢せられたるを以て昨今當業者は海陸連絡上頗る不便を感しつゝあるが右に就き仁川日本人商業會議所にては本日頃其の筋に對し建議書を提出すべしと

●貨幣發行高週報　一銀總支店に於ける本月十一日より十七日に至る貨幣發行高左の如し

第一銀行劵總發行平均高	八、六七二、一〇〇
內正貨準備發行額	二、九三四、二〇〇
保證準備發行額	五、七三八、五〇〇
銀行劵平均手許有高	六八九、一一〇
銀行劵市場平均流通高	七、九八二、五八九
硬貨發行額四月十七日現在	四、二三〇、九六五
內金貨　二十圓	七、三五〇、〇〇〇
同　十圓	五〇、〇〇〇
金貨　五圓	五〇、〇〇〇
銀貨　五十錢	六四六、〇〇〇
同　廿錢	七二八、〇〇〇
同　十錢	三九〇、〇〇〇
白銅貨五錢	八二一、三〇〇
靑銅貨一錢	一三三、七七五
同　五厘	六一、三九〇

●米國代辨領事任命　オツロー、シー、グールド氏は今般京城駐在米國代辨總領事に任命せられたる旨在東京同國大使より其筋へ通知ありたりと

●警察部長の交迭　忠淸北道警察部長今村輛氏は江原道警察部長兼春川警察署長に江原道警察部長坂東榮次郞氏は忠淸北道警察部長兼淸州警察署長に任命せられたり

●一昨夜の法學士會　一昨十九日午后七時より花月樓に於て開催したる在京城法學士會は出席者五十二名まづ俵學部次官開會の挨拶ありて后各自現在の職業姓名及卒業の年次を述べ夫れより酒宴に移りたるが頗る盛會を極めたり

●驛屯土の調査　驛屯土從來の狀態は其の筋にても書面の上に知らるゝのみにて實地の調査を爲したることなきに依り度支部にては之が調査を爲すべく昨二十日の官報にて財務監督局主事八十四名を臨時增員して調査を爲すことに決定したるが其の方法は一筆每の調査を爲し見取圖的の地圖を作りて事實上の小作人を確め小作證書を附與すると同時に名義上の小作人を排斥して之れが保護を厚くし小作證書は賣買讓與を許さゞる筈にして凡そ一ヶ年を以て調査終了の豫定なりと云ふ

漁民移住要義

韓國移住漁民は如何すべきやに就き鹿原水產課長の談に依れば從來日韓通漁條約によりて日本人の韓海に通漁せる者の內漁業根據地を定め移住經營をなせるもの全沿海に於て其數約三十ケ所の多きに達し自個の漁利を計ると共に韓人にも自然の感化を與へ其移民の存在せる韓人の漁業行爲は殆んど日本人と相異あらざるの狀態にあるは兩國の爲め最も喜ぶべき現象なりとす

▲然るに是等移住民の其住所を選定するの方針は漁業本位にありて唯水族の捕採に最も便利なる地域を選び其他を顧みざるの有樣ありて假令如何なる地域と雖も魚類の豐富にして其の營業に便利の場所なるに於ては之れを以て直ちに移住の好適地とし之れに向て經營を施すの狀態あり

▲而して其の始めは多數の人氣を得て續々之れに趣く者ありと雖も年と共に次第に其人員を減少し遂に折角の經營目的も多く中途にして之れを廢棄せざる可からざるが如き否運に至るを常とす、其の原因は一にして足らずと雖も

▲主として當初に於て其の選定の方針を過れるに依るもの多し元來移住經營に就ては其選定の方針として少なくとも六個の條件を具備するを要する精に注意せざる可らず(一)敎育の設備(二)衞生の設備(三)警察制度の設備(四)交通運輸の便利(五)副業の得易き場所(六)人生の慰安を得る場所

▲以上は漁業の經營と相俟つて之れを具備する地所の選定をなさゞるべからず試みに其の二三の例を擧ぐれば移住漁民を勸奬するに當り彼等の先づ問ふものは學校の存否醫師及巡査の有無、郵便電信の有無、家族餘業の有無、及び寺院僧侶の存否如何等にあり

▲而して其の設備ある移住地に向つては多く家族を携帶し其の然らざる地に向ふては單獨移住をなせる者多し之れ彼等の心性を表顯せるものにして單に余輩の唱導を俟たず彼等の最も要求せる條件と謂ふべきなり

▲凡そ人間の生存上に余の所謂六個の要素を必要とするは只に是等漁民に向つてのみ然るには非らざるも漁民の移住撰定計畫を爲す者にして間々其の注意を缺き單に漁業本位にのみ着眼して之れが計畫をするものある爲め前述の如き龍頭蛇尾に終るの結果を來たすもの也

▲之れ其の責め漁民にあらずして計畫者にあるべき事を知らざる可らず今や新たなる日韓漁業協約により兩國漁民は同一の權利義務を有し將さに大に沿海を開き漁利を擧ぐべき時機に遭遇せると共に移民經營を立つべき必要の折柄に莅めるを以て是等經營に當れる官民諸氏は最も此所に留意して將來を過まらざるを期すべきなりと

●新義州の製材開始　新義州龍岩浦二木材工場は結氷中は事業を中止せしも四月上旬より事業に着手し目下盛に製材中也

●載寧の郵便物　黃海道載寧は十一月以來載寧江結氷の爲め郵便物遞送を迂回し砂利院に出て居りしも三月下旬頃より解氷と共に載寧江は渡船の便により直接砂利院に遞送せり

●陸路郵便護衞變更　元山より陸路郵便遞送人の護衞は從來守備隊より護衞兵を高山まで附せしめつゝありしが先般來より都合により憲兵隊及警察交代にて鳥致院まで護衞する事に變更なりと云ふ因みに同地より鳥致院迄警衞より次ぎ〳〵に護送するものなり

●黑田氏の茶話會　黑田太久馬氏及同夫人には近々出發歸國すべきにつき暇乞來る二十四日(土曜日)午後三時より知人を招き茶話會を催ふすべしとの事なり

●警務課長の后任　窪谷警務課長は某縣警察部長に轉任すべきに付其后任は中野警察部長なるべしと

●警察官の茶話會　明二十二日警察官敎習所に於て警務局及警視廳員の茶話會あるが席上窪谷警視の韓國警察改善に關する意見の講話ある筈なりといふ

●鈴木司稅局長歸任　東上中なりし鈴木度支部司稅局長は本朝歸任せし筈なり

●明石少將の東上　軍司令部參謀長明石少將は來る五月三日東京に於て開催さる參謀長會議列席の爲め不日出發東上すべしと

●能島電通主任東上　電通支局主任能島道氏は社用にて今二十一日夜行列車にて南大門發列車にて東上する由往復二週間の豫定なりと

公人私人

▲藤田軍醫部長　東上中の所十九日歸任す
▲岩谷騎兵大佐　昨日歸任す
▲齋藤濱五郎(辯護士)　十九日入京三日月旅館
▲坂上貞信(群山民長)　十九日歸群
▲三浦覺一(大分縣代議士)　同日釜山に向ふ

近事片々

▲宋秉畯の歐米行も一進會の反對にて沙汰止みとなりて統監府側は迷惑し居れりと
▲何故に迷惑なるかと云へば東京に置ては例の調子で長廣舌を揮ふからとは面黑し
▲長廣舌になせ困るかと云へば統監政治のアラを喋べり散らされるからとは滑稽也
▲是を以て東京へ置くは危險なり神戸か山口に移さんとするも頑として應せずと
▲借も統監府側とやらの意氣地にも呆れる斯くては天下の事は何一つも出來ざる也
▲一宋秉畯の爲に斯く沈氣殘せねばならぬが事實ならば統監政治の眞價知るべき也
▲宗主國の大政事家大勳位公爵伊藤博文閣下も茲に至ては與に情けなき心地せらる
▲嘗ては豐公を氣取りビスマルクに私淑したる當年の意氣何處にありや借も歎はし
▲伊藤荒助と云へば人も知る山縣系の逸物勇の名低からず今や殆ど鳩の如く柔和也
▲人間年は老りたくない者だ老ゆれば麒麟も駑馬に劣るとは與也適例眼前に在り焉
▲觀光團の一行には隨分頑固なるヨボあり時々滑稽を演じ率領者を困らすは面白し
▲元老金宗漢の如きは上手者にて言辭に巧みなるより大分讃められて居る樣子なり
▲金容植に於ては寡言沈默にして殆ど啞の如し之も肚が見透かぬ一の外交手段也
▲例の鄭雲復に至りては流暢に日語を語りて統監政治の狀態を喋々す聊か得意なり
▲日糖事件は敎科書事件以來の大疑獄となれり代議士の拘引さるゝもの續々輩出す
▲磯村秋山の醜類も最早年貢の納め時と觀念したるか罪狀自白し始めたりとの事也
▲所謂毒盟主義に總て打撤て幾多の關係者を抱へて淵に飛込む覺悟とは惡黨の本性
▲小林藤太郎や瀨川君平の如き眞面目なる商人等を瞞着したる渠等の手腕や怖ろし
▲豫審は秋頃にならでは終結せず公判決定迄には二年を要すとは隨分込入たる者也
▲金澤聯隊にては秘密書類の紛失あり而も其犯人は外國見習士官の一人なりと云ふ
▲韓國の各地に種々なる疑獄起り居る斯くも疑獄の續々たるは何事を意味するや
▲驕奢の增長と生存競爭の激烈により來りたるとは僅に一の原因也大に戒愼を要す

●木浦十八の支店長　十八銀行木浦支店長國城寺喜太郎氏は今回本店詰を命せられ[illegible]

●公州附近道路改修　忠淸南道觀察使は訓令を發して目下公州各郡面各面洞に通ずる道路工事を盛んに起し其改修增築を急ぎ[illegible]未だ不完全を免かれずと

●水源地の松苗植付　今回木浦水道事務所に於ては釜山水源地より松苗(三年生)五[illegible]

●北韓長箭の捕鯨期　北韓長箭に於ける捕鯨は例年に比し時期頗る遲く昨今は弗々捕鯨ある由なり

[illegible]以て機關掃除の爲め入渠之に代り對馬丸は同夜々航便より復舊運航す

(日刊)(月曜及祭日翌日休刊) 明治四十二年四月廿一日 京城新報 (水曜日) 第八十八號 (三)

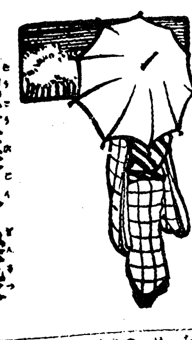
長岡城寺喜太郎氏は今回本店詰を命ぜられ十四…七郎氏來任せしが當時同城寺前支店…目下病氣引籠中なれば全快を待つて右披露をりなすべしと

訓令を發して目下公州各郡間各面間に通ずる道路工事を盛んに起し其改修増築を急ぎつゝあり郡道は九尺面道は幅六尺以上と規定し直線路に改修をなしつゝあるが其構造

●水源地の松苗植付　今回木浦水道事務所に於ては釜山水源地より松苗(三年生)五萬本を購入植附に着手する筈なるが今後更らに五万本を植附くるべしといふ

捕鯨は例年に比し時期頗る遲く昨今は漸々捕鯨ある由なり

●連絡船壹岐丸休航　關釜連絡船壹岐丸は去る十七日朝下關着より約十日の豫定を…同夜々航便より復舊運航す



●強盜美人を慘殺す
…被害者は廿一歳の嫁…

被害者は山口縣大島郡屋代村大字尋常平民當時平安南道延日郡浦項洞在留の雜貨商吉崎登職の妻ヨシノ(二一)とて界隈切つての美人なりしが去る十七日は恰も同郡下扶助の開市日に相當せるより夫登職は商賣の爲め早朝より右市場へ行き其夕方まだ日も高き六時頃我が家に歸り着きたるに田舍の事なれば何時も同時刻頃には必ず締切る事に定め居たる雨戸の珍らしくも開け放ちあるのみならず虫の知らせにや何となく附近の樣子の怪しく胸騷がしきより草鞋の儘にて居間へ駈け込みヨシノ〳〵と幾度か聲を掛けたれども何の應も無きより庭口より炊事場に廻らんとて臺所へ飛び込む足元に空叺を打ち懸けたる小高きものありしに躓きたれば燃んな出入口に何を置きしかと呟ぎ乍ら何心なくフト其の叺を剝れば是はそも如何に今朝の今朝迄笑顏でニツコリ我を送りし戀女房のヨシノが身を唐紅に染めなして二眼と見られぬ程慘酷しく殺され居るにぞ氣も狂はん許りに打驚き暫時は死骸に取り縋りて男泣きに泣き崩れ居たるが斯くして果つべきにあらねば其筋の檢視を受け後懸ろに吊ひたり扨ヨシノの傷は左頸部より右頸部に拔け通りし傷三ヶ所の外右足關節部に一ヶ所左右の食指に一ヶ所宛都合六ヶ所の重輕傷にして無論頸部の三ヶ所が致命傷らしく證據品としては死骸の傍に兇行に使用せる鮮血淋漓たる出齒庖刀が打ち捨てあり又簞笥の中に在るべき筈の葉錢十二貫文一圓紙幣廿五枚銀貨銅貨取り混ぜ五圓合計卅餘圓の現金紛失し居り未だ色々と捜査ども其の原因鑑定不明なるもの〻如し名も無き野邊の草さへ咲き初めたる今日此頃盛りも見せず散り失せぬるぞ憐なりける

●憎むべき二清探
▲孫逸仙來名の報を捏造す

清國革命黨孫逸仙名古屋に到り同志を糾合して南清の一角に旗揚の計畫中との報新紙に傳はるや清國政府驚愕措く所を知らざりしが某消息通の語る所に依れば此は全く革命黨員の監視を委託され居る東京芝區巴町五三中町香橘、麻布區三河臺町一六杉山五百枝方同居榛澤捨松の兩人が運動費を清國政府より引出す策として捏造せしものにて此中町は以前清國日本公使館の巡査を爲し榛澤は長く馬賊の仲間に入り日露戰役の折には兩人とも支那人に變裝して一時は我軍の利を計りし事もありしが榛澤は渡船一艘を掠奪して日本に逃げ來り昏拂つて懷を暖めしも其金も盡きたるより今度は清探となつて中町と共謀し中町の知つてる袁克之(袁世凱の子息)を說付け千圓にて革命黨の行動我政府の秘密を誇大に報告したるなりとなほ中町は數日前天津に急行せしより其筋にても彼等の行動を監視し居る由なり

●可憐なる離島(四)
▲天魔に魅入れし亭主
▲孤閨に泣く糟糠の妻

吉三はそれより腕車にて本町七丁目なる渡邊某を訪ひ商品仕入のためと稱して金子五十圓を借り受け引返へして若葉屋に到り京城座見物と稱して初を引出し車を連ねて南大門通なる某待合に這入り差向ひにて飮み始めたるが吉三は流石に打ち萎れて何時になく物案じげの風情なるにぞれ初も兎角に心を惱まし仔細ぞあらんと問ひ掛けたるに吉三は矢庭に改まり女房の事より彼是れと一伍一什を物語りて二百圓の金子を手渡したれば初は吉三の膝に縋り付きて嬉し淚に暮れけるが其の夜は开處に一泊し翌朝九時何分の下列車に乘り込みて猶蕭のつがひの睦まじくれ初が生國山口縣熊毛郡さして旅だちたりと(終り)

●藝妓を連出す
仁川花町派出所に昨晩一時頃同地花町一丁目韓家安在德と云へるもの出頭して只今一人の日本人來り抱妓の菊花と云ふを無理矢理に連れ出し何れにか逃走したれば何卒詮議に及びたしと訴へに接し花町巡査は直に出張し取調べたる所右日本人は鹿兒島縣生れ當時花房町二丁目市坪藤介方小田廣隆(二十)と云ふものにて花町一丁目菊水樓に菊花を連れて登樓し菊花に對して種々無理難題を吹き掛け果ては毆打を加ゑ殺してやらんなど叫び居ること突き止めたれば警官は直に出張引致し目下取調中なり

●腕車の只乘り
原籍靜岡縣富士郡大宮町四番地平民無職佐野爲吉(三六)は一昨日午後十時頃南大門停車場居住の人力車夫李來錠(二七)の腕車にて南大門より本町三丁目まで乘行し其賃金を支拂はざるのみならず該車夫を毆打し暗夜に乘じて逃走し自宅に歸り居る處を車夫の訴へにより警官同道にて黃金町三番戶なる佐野方を訪ねて詰責したるに佐野は此の車夫の車には乘りたる覺なしなど白を切るのみか警官に對して自分はタイムス社の記者なれば左樣な不都合な事を申すと免職させてやるぞ抔と暴言を吐くより警察署に同行の上賃金を支拂はしめ說諭の上放還したりと

●釜泥棒の罪狀
既報の如く山口縣玖珂郡高森村目下住所不定の藤本吾一(二…)と云ふは窃盜詐欺取財の前科三犯者にて本年二月十二日永登浦監獄を出監以來京城に入り込み三月十九日午後七時頃龍山淸水町阿部晋松方にて釜一個代金一圓余を窃取したるを手初めとし各所にて都合釜十五個余其他手桶盥等を窃取し其都度之を京城龍山の古物商に五十錢以上一圓二十錢以下にて販賣し其金を以て飮食の用に供したる事發覺し身柄は一昨日檢事局へ送致さる

●一網に五人
大分縣北海部郡阪ノ市村當時大和町一丁目一二八萩本三七(二八)長崎市金屋町當時南山町一丁目四五小山勘次郎(四七)大阪市東區農人橋一丁目當時大和町一丁目四十大久保虎吉(三九)大和町三丁目八十八中野菊太郎(五三)新町三丁目四十一村田秀一(三三)の五名は去る十六日午後九時頃大和町三丁目石田國造方にてチーハーの賭博最中現行を差押へられ賭博犯として一昨日檢事局へ送致せらる

●大桝屋の新顏
栃木縣生れ齊藤たま(二三)は才三と名乘り富山生れ花房よしい(十九)は千草と稱し東京生れ萩チヨ(二三)は綠と名稱つて何づれも新町大桝屋より今晩は

●合せ鏡(二)
魚遊狐史

(伊豫之守殿の花較を見て)

▲れ辰
色氣はなれて只一と筋に
三筋稼業で身をたつる

語る新内ツイ聞き惚れて
泣かされましたよ明烏

▲れ蔦
こゝろ浮草波路をつたひ
ところ定めぬ西ひがし
昨日南船れ嵜部に帆掛け
今日は北馬の足で飛び

●野犬の撲殺
大和町二丁目一五〇番地虎之助長男房田武夫(十二)は十三日午後六時頃自宅近傍にて餘念なく遊び居る際見知らぬ韓國犬の來れるを見逃げんとしたるに犬は背後より追ひ掛け來りて武夫の右脚へ咬み付き輕傷を負はしめたるに付き早速引捕へて診斷したるに狂犬にはあらざれども飼主なき野犬の事とて撲殺したりと

●怪しい韓人
南署明洞居住九十八統木工金縣元(二四)は一昨日午後八時四十分頃右脇に釜を抱きながら長谷川町二丁目を徘徊しつゝある際擧動不審として巡回の警官に引致せらる

●本日の公判
法務院本日の公判は如左

▲民事　午前十時開廷　上訴人松本哲被上訴人桑木亦次郎間家賃金請求事件、上訴人本間忠三郎被上訴人瀧野善一間貸金事件

▲刑事　午前十時開廷　後藤進窃盜、山中好雄窃盜、石田米藏窃盜、被告事件等

●龍山の丸目大弓場
豫ねて龍山十五間道路柳町溫泉向側に新築中なりし同大弓場は愈々今回落成したるを以て來る廿五日午前十時より營業開始の披露を兼ね射堤開きの式を取り行ふと云ふ定めし盛況なるべし

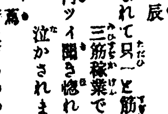
演藝界
▲歌舞伎座　田宮貞雄一座の新派演劇にて本日より開演藝題は百萬石元祿藝者にして重なる役割は左の如し

寺田正彥(松村)前田勉(小柳)元祿藝妓ともヂ(堀江)令孃春子(藤原)大西傳(中村)みの龜(山岡)石黑(大山)車夫金太(池田)女將れ時(阪本)消防組頭赤松五郎造(田宮)

●韓語獨習

日語	韓語
れやすみ、ですか	チユムシム、ニツカ
夜中、熟く眠りましたか	パムチユン、チヤールチヤツスムニタ
よく、れ寢みなさい	ピヨンアニー、チユームーシヨ
れつかれで、せう	コン、ハシカエツツ
から、早く、れ寢みなさい	ニ、イルチク、チユームーシヨ
そう、致しませう	クリ、ハオプシタ

◀平民文庫▶



▲西小門から城壁に沿ふて南大門へ行く路があるが當時其間の城壁を取毀つて居る爲めに巨岩大石も少し大袈裟だが石塊累々として往來に堪ない其處迄往つては引返へさねばならぬ始末だ斯くの如くんばだね宜しく往來止めの札を揭ぐべしである(御用聞)▲皆さんが能く憤慨せらるゝことだが鍾路で立つて居て頭から水や湯を浴びるに傍若無人の奴がまだ其跡を絕たない此樣な人は新聞で攻擊する位では駄目だから一つ征伐隊の秘密結社でも作つて言もいはず横つ面を撲り飛ばす樣に爲たいものだ(唸拳士)▲此の次の日曜では桃はもう遲いでしようか(桃林驍士)▲僕は先頭の本棚で小僧君に喧嘩を吹つ掛けられた食度生ですが餘り始を食い過ぎて腹を傷めて困つて居ます(食傷子)▲私は貴方に喧嘩は賣りません貴方がお買ひになつたのです又腹を傷めたと仰云るが私の罪ではありますが私には何とも致し樣がありません(小僧)▲香水をつけて會社へ出ると皆がハイカラだとか氣取り家だとか云つて困りますが自分では惡臭を放散するよりは優しだと思つて依然つけて居ます(會社員)▲理髮店だの湯屋では少しの剩錢は愚圖〳〵して出さぬ所がある(不埒太)▲遠慮をせずに催促なさい(給仕)▲暖かになると衣服の垢が眼に立つて外を歩行のに工合が惡いので困る貴編輯局の小僧君は學者だから名方法があると思ふ敢て高教を仰ぐ(乞示教生)▲エヘン萬法即一如一如即万法、垢を附けて置くから穢いのぢや穢いことを氣にする程なら垢を着けて置かぬことぢや如何なる事情があるにしても一枚着に垢を付けずに置く位いは容易いことぢや併し努めて至らざれば豈に敢て工合式を惡がる必要あらんや學問に邪法はない汚れたものは穢なく見へるが至當ぢや斯如は去て洗濯屋の婆さんに相談すべし柳は綠花は紅(小僧上人)

●花柳巷談 似合の花較べ
筆者病氣のため休載

●天氣豫報(自二十日午後六時至廿一日午後六時)
西の風晴

十九日　最高溫度 五五、〇　最低溫度 四二、四 (華氏)

列車時刻改正

來る五月一日より當局全線列車運轉時刻及營業哩程の一部左の通り改正いたし候

●主要列車時刻概要

▲釜山京城間急行

北行		南行	
釜山發	前一〇、四〇	仁川發(永登浦乘換)	前八、〇〇
南大門着	後八、一〇	南大門發	前九、〇〇
仁川着(永登浦乘換)	後九、〇八	釜山着	後六、三〇

▲釜山新義州間直行

北行		南行	
釜山發	後九、五〇	新義州發	前八、三〇
仁川發(龍山乘換)	翌前八、〇〇	平壤發	後二、三一
南大門發	前九、一〇	仁川發(永登浦乘換)	後九、五五
平壤發	後四、四九	南大門發	後一〇、四〇
新義州着	後一一、〇〇	釜山着	翌前九、三〇

但し釜山京城間に限り隔日(釜山南大門共奇數日發)運行は從來の通

●營業哩程

京仁線改良工事竣成に伴ひ永登浦仁川間營業哩程左の如く改正す從來より一哩短縮の結果該區間發着の旅客及荷物賃金は割安となれり

自永登浦	哩
梧柳洞	三、九
素砂	七、六
富平	一〇、九
杻峴	一七、三
仁川	一八、四

改正列車時刻の詳細並に營業哩程改正に伴ふ異動は停車場に就き御承合被下度候

明治四十二年四月

統監府鐵道管理局

新燃料 無煙煉炭

▲無料紹介欄▼

人事部

清語通譯希望 當初給料望まず 氏名在社(一二一一)

一年前二十歳身体強壯高等小學校卒業家内の少き内に於て餘暇裁縫教授を受くべき家に下女奉公を望む 旭町一の三二九 まちだ(一二一三)

被雇 甲種商業學校出身一年志願兵現役終了給料不望個人商店を望む身元確實 姓名在社(一二一二)

買物係り 身体頗強壯軍隊出射撃術に通ず報酬を不望(衣食に差支へなき限り) 氏名在社(一二一四)

看護婦 雇はれたし年廿才五実ボーイに雇はれたし持點數百二十以上龍山大島町新玉軒にて 津田(一二一七)

看護婦 募集す志望の方は至急申込あれ 明治町惠愛看護婦會

看護婦 三名入用 南山町二 松岡醫院

給仕 に雇はれたし 氏名在社(一二一八)

物件部

貸家 大和町三丁目土地百餘坪の建物あり官庭向に適し風景最もよし望の方は御來談あれ 社内 矢島

貸間 旭町一丁目亜便便利の場所電話附(又は賄附にても)にて二間貸したし 氏名在社(一二一五)

雅子雄日本産尾中斷し従來使用中の者姦離にかゝれり心當り御報の者へは謝禮 龍山陸軍官舍八十八號前 丸山(一二一三一)

廣告

電話開通 一一一一番

青々園

風味絶妙 實質の三者を兼備す 正銘宇治 茶京都の茶器 故に尤も進物用に適當なり

京城本町四丁目 茶及茶器商 青々園茶舗

九州セメント 今回大割引を以て販賣仕候間御用命被下度候 京城南山町一丁目電話三四四番 山村商店 龍山元町二丁目電話三二三番 林藥店

▲清潔の下宿▼ 客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候 壽町二丁目一番戸横小路(元花屋跡) かめ屋

▲懇切の下宿▼

電話開通 一〇五九番 京城長谷川町 本派本願寺假出張所

龍山 萬長旅館 東山の手柳町 電話四〇〇番

電話開通 千百二十七番 廿錢均一にして毎夜無休 午後六時迄に御越の御方に限り… 京城座

關西スレート會社 スレート瓦石板採掘販賣 京城旭町三丁目 電話(長)三三 井上久藏 韓國代理店

電話開通 九五五番 生蕎麥 東京庵 壽町三丁目

危險物貨物運送 取扱 擔保附運送 税關貨物取扱 品代金付貨物運送 貨物引換 …

內國通運株式會社 京城支店 電話七〇八番 仁川出張所 電話五一二番 釜山出張所 草梁驛前 電話六一六番 草梁驛前電話三十七番 龍山派出所 龍山驛構內 電話二〇六番

明治廿年七月創立 東京火災 海上運送保險株式會社 資本金一千萬圓 城代務店 本町四 山口吳服店 事務所 京城本町二ノ三 電話〇六〇番

看四品(但一品)ビール一本 金一圓 頗るハイカラの酌婦付 明治町二丁目 富士材木店横入 敷島

會席御料理



本町八丁目 富士見樓

電話九百〇二番 內科 婦人科 外科 富久尾病院 電話九百〇二番 京城旭町二丁目

銘茶 …… 京城…丁目 …茶舗

諸傘並に提灯類 印入 和洋蠟燭あり 京城明治町一丁目 大島商店

京城曙町(電話六八四番) 統監府御用 宮內府御用 軸物表装 金銀屏風 額面模式 壁張天井張 石川表具店

高等 待合 紅葉

一金口莨空箱買入れ申候 但百本入に限る 京城本町四丁目 ●廢物利用● 上等金口トルコ莨發賣所 パチリス商會

京城太平町二丁目 巴商會 韓國一手販賣 京城府領事館通 電話六〇三番

純良 乳 牛乳元祖 京城大和町一丁目 平山牧場 電話百三十三番

直輸入品 リノリーム各種 リノリ油類 右到着仕候間御用命下され度候 京城支那領事館通り 清韓洋行(電話四九四番)

特約販賣自製 漬物 味噌 醬油 製造元 京城本町五丁目 和洋酒、精酎、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物 食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣 尚御望に依り商品切手調進仕候 大上商店(電話二五一番)

電話開通 千百五十二番 和洋紙文房具 諸帳簿活印刷 京城本町一丁目 北內商店

新荷着廣告 歐洲各國帝室御用品 品質優等、意匠艶麗、

G.D. 印トルコ金口煙草(百本入 十本入) 外各種 百本入、二十本入、十本入とも 右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候 追て見本品並に價格表は御申越次第御送附可申上候 直輸入元 仁川本町一丁目 トルコ煙草商會 電話(七一五番)

各衛門御用 新着及春調達 井上…郎

神田組

洋種 純良牛乳 電話三五七番 電話七一一番 京城南大門外 蓬井牧場

統監府御用 諸官衙人力車 荷物荷造及運搬 營業 京城曙町(電話七三番) 本店 同本町三丁目(電話四〇番) 伊藤組

◎氣候變化 牛乳 ◎牛乳 純良 消毒 韓國畜產株式會社 南大門外(電話八八番)

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候 資本金參百萬圓 積立及繰越金八拾萬圓 京城南大門通 株式會社十八銀行京城支店(電話四二〇) 本店 長崎 支店 出張所 市 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、鎭南浦 大阪 熊本 佐世保、嚴原 五島 壹岐

韓國 日本 其他日本、韓國、臺灣、關東州、… 及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘) 長崎貯蓄銀行代理店 十八銀行京城支店

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告 仁川 貨物及船客取扱店 仁川海岸通 郡回漕店 電話三十九番